CEATEC JAPAN
CPS/IoT EXHIBITION

CEATEC JAPAN 2017

開催概要／取材要領

CEATEC JAPAN 2017 Information for PRESS

■CEATEC JAPAN 2017 開催概要

■名称

CEATEC JAPAN 2017（シーテック ジャパン 2017）
（Combined Exhibition of Advanced Technologies）

■開催趣旨

新たな産業革命と言えるデータ駆動型、また情報活用型社会到来に向けた収集・分析・テクノロジ―を一堂に会し、参加者へのビジネスの創出と技術および情報交流、社会的課題の解決策の提案を行い、一層の発展と生活の向上および社会貢献を促す。

■会期

2017 年 10 月 3 日（火）～ 6 日（金）午前 10 時～午後 5 時

■会場

幕張メッセ　千葉市美浜区中瀬 2-1

■入場

全来場者登録入場制
▶当日登録：入場料一般 1,000 円・学生 500 円
（学生 20 名以上の団体および小学生以下は入場無料）
▶Web 事前登録者・招待券持参による当日登録者：入場無料

■主催

CEATEC JAPAN 実施協議会
一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）
一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）

■後援

○総務省、外務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省（建制順）
○独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）／
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）／
国立研究開発法人産業技術総合研究所（AIST）／
国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）／独立行政法人情報処理推進機構（IPA）／
独立行政法人中小企業基盤整備機構／日本政府観光局（JNTO）
○千葉県／千葉市
○NHK／一般社団法人日本民間放送連盟
○一般社団法人日本経済団体連合会／日本商工会議所／東京商工会議所／千葉商工会議所
○米国大使館商務部／駐日欧州連合代表部／英国大使館貿易・対英投資部／
フランス大使館 貿易投資庁－ビジネスフランス／ドイツ大使館
（順不同）

■協賛団体

○一般社団法人電気通信事業者協会／一般社団法人電気通信協会／
一般財団法人インターネット協会／一般社団法人情報通信技術委員会／
一般財団法人日本情報経済社会推進協会／一般社団法人 IT 検証産業協会／
一般社団法人コンピュータ教育振興協会
○一般社団法人電波産業会／一般財団法人電波技術協会／一般社団法人衛星放送協会／
一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟／一般社団法人日本 CATV 技術協会
○全国家電流通協議会／全国電機商業組合連合会／全国電子部品流通連合会／
一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会
○一般社団法人日本電機工業会／一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会／
一般社団法人日本オーディオ協会／一般社団法人日本医療機器工業会／
一般社団法人日本電気計測器工業会／一般社団法人日本電気制御機器工業会／
一般社団法人カメラ映像機器工業会／一般社団法人組込みシステム技術協会／
一般社団法人日本電子回路工業会
○一般社団法人日本自動車工業会／特定非営利活動法人 ITS Japan／
一般社団法人日本自動車部品工業会
○電気事業連合会／一般財団法人新エネルギー財団／一般財団法人省エネルギーセンター／
一般社団法人日本電気協会／一般社団法人電池工業会／一般社団法人太陽光発電協会／
一般社団法人日本風力発電協会／一般社団法人ソーラーシステム振興協会／
スマートコミュニティ・アライアンス
○一般社団法人住宅生産団体連合会／一般社団法人日本機械工業連合会／
一般社団法人日本ロボット工業会／一般社団法人日本冷凍空調工業会
○一般財団法人デジタルコンテンツ協会／一般社団法人日本映像ソフト協会／
一般社団法人日本書籍出版協会／一般社団法人日本レコード協会（順不同）

■協賛学会

一般社団法人映像情報メディア学会／公益社団法人応用物理学会／一般社団法人画像電子学会／
一般社団法人情報処理学会／一般社団法人電気学会／一般社団法人電子情報通信学会（順不同）

■協力

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

■グローバルパートナー

○Consumer Technology Association （CTA） / International CES （USA）
○Messe Berlin / IFA（Germany）
○Messe München International / electronica（Germany）,
electronica & Productronica China（China）
○Hanover Fairs / CeBIT（Germany）） （順不同）

■アジアパートナー

○China Council for the Promotion of International Trade,
Electronics & Information Industry Sub-Council(CCPIT ECC)
○China Electronic Chamber of Commerce（CECC）
○China International Software & Information Service Centre（CiSiS）
○The Hong Kong Electronic Industries Association（HKEIA）
○Taiwan External Trade Development Council（TAITRA）
＜Asia Electronics Exhibition Cooperate Conference (AEECC※) メンバー＞
○China Electronic Appliance Corporation（CEAC）
○Hong Kong Trade Development Council（HKTDC）
○Korea Electronics Association（KEA）
○Taiwan Electrical and Electronic Manufacturers'Association（TEEMA） （順不同）
※Asia Electronics Exhibition Cooperate Conference（AEECC） は 1997 年に組織され、各国・地域で開催している展示会間の PR・広報協力などに関して相互協力関係を構築しています。

■CEATEC JAPAN 2017 開催テーマ

CEATEC JAPAN
CPS/IoT EXHIBITION

「つながる社会、共創する未来」

日本の成長戦略や未来を世界に向けて発信する
Society 5.0 の展示会

社会課題を優れた技術・サービスと新たなオープンイノベーションで解決するための、未来のテクノロジーと将来のトレンドが見える展示会、それが新しい CEATEC JAPAN です。日本への国際的な注目度が高まる 2020 年に向けて、第四次産業革命をリードする世界のイノベーションショーケースとして開催します。

■会場構成

本年は「社会・街」「家・ライフスタイル」「デバイス・ソフトウェア」「特別テーマ」の 4 エリアで構成しています。

■CEATEC JAPAN 2017 取材要領

1. プレス登録について

展示会場でのプレス登録
幕張メッセ中央エントランスに設置するプレス登録カウンターにて、プレス登録が可能です。
登録の際はお名刺を二枚ご用意ください。受付にてお渡しする「プレスバッチ」をご着用いただき、ご入場ください。

プレス登録カウンター 受付時間：
10 月 2 日（月）~6 日（金） 9:30~16:45

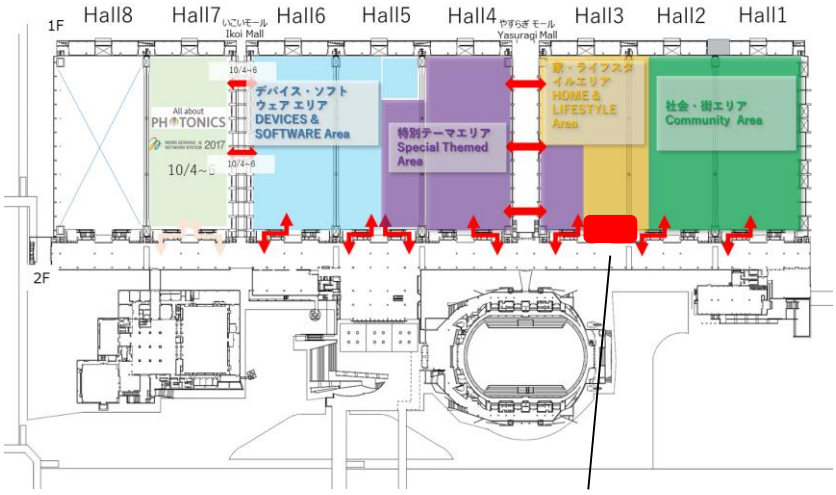
※プレス事前登録をお済みの方は、プレスバッチをご持参の上、会場へお越しください。

2. プレスセンターのご案内

CEATEC JAPAN 2017 を取材のためにご来場の報道関係者の皆様は、各出展者配信のプレスリリースの配布をはじめ、ネットワーク完備のワークススペース、ミーティングスペース、ケータリングなどを備えたプレスセンターがご利用いただけます。ご取材の拠点としてぜひご活用ください。

① 開設日時
・2017 年 10 月 2 日(月)
10:00～20:00
・2017 年 10 月 3 日(火)
～ 10 月 6 日(金)
9:30～20:00

② 開設場所
展示ホール 2 内
1 階 展示会場内諸室



プレスセンター/Press Center

③設備等
・ワークスペース
ワークデスク、パソコン（OS：日本語版・英語版/インターネット接続済）コピー機、FAX、電話
・インターネット接続環境
ネットワーク LAN（無線/有線）
・ケータリング
ドリンク・スナックカウンター（無料）
・クロークサービス
ロッカー（数に限りがあります）
・配布資料
主催者コメント・リリース、出展者リリース、開催概要、主催者関連資料、特別展示関連資料、コンファレンス関連資料、会場案内図 等
・プレスブリーフィングルーム
プレスセンター内に出展者による製品発表、記者会見等を開催するプレスブリーフィングルームを設置します。

■報道関係者向けイベントのご案内（10 月 2 日）

1.CEATEC JAPAN 2017 プレスブリーフィング

メディアコンベンションの取材要領の説明および出展者数の発表などを実施します。

■開 催 時 間 ： 2017 年 10 月 2 日（月） 13：30～14：00
■会　　場 ： 幕張メッセ 展示会場 ホール 3 イノベーショントークステージ

2. メディアコンベンション 開催概要

CEATEC JAPAN 2017 開催に先立ち、報道関係者の方のみを対象としたメディアコンベンションを開催いたします。取材活動につきましては、以下の事項をご了解いただき、円滑な運営にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■開 催 時 間 ： 2017 年 10 月 2 日（月） 14：00～17：00
■会　　場 ： 幕張メッセ 展示会場 ホール 1～6

取材上の注意および協力依頼事項

(1) 取材位置、その他については、運営担当者の指示に従ってください。
(2) メディアコンベンションは、以降に記載があります出展ブース内の製品等が取材対象となります。記載のない出展者および製品等は、原則、取材対象外となりますので、予めご了承ください。
(3) 取材に必要な車両を会場施設内に進入させる必要がある場合は、事前に CEATEC JAPAN 運営事務局までご連絡ください。
(4) メディアコンベンション時間外の取材はご遠慮ください。
(5) 掲載された新聞・雑誌等の記事を事務局までご提供いただけると幸甚に存じます。

3. オープニングレセプションのご案内

10 月 2 日（月）18：00 より、パレスホテル東京（千代田区丸の内 1-1-1）にて「オープニングレセプション」パーティを開催します。オープニングレセプションには、内外の政府・関係省庁・団体・企業等、多くの皆様のご出席を賜る予定です。報道関係各位におかれましても、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

■名　　称 ： CEATEC JAPAN 2017（シーテックジャパン）オープニングレセプション
■開 催 時 間 ： 2017 年 10 月 2 日（月） 18：00～20：00
■会　　場 ： パレスホテル東京「葵の間」（東京都千代田区丸の内 1-1-1）

▼オープニングレセプション会場行き バスのご案内

バスのスケジュール：
幕張メッセ 15:30 発（プレスセンター集合時間 15:20）→ パレスホテル東京 16:15 着予定
幕張メッセ 16:45 発（プレスセンター集合時間 16:35）→ パレスホテル東京 17:30 着予定
幕張メッセ 17:00 発（プレスセンター集合時間 16:50）→ パレスホテル東京 17:45 着予定

※座席数が限られておりますので、ご利用できない場合もございます。あらかじめご了承ください。
※バスが満席になった場合は予定時刻より早く出発する場合がありますことをご了承ください。

お問い合わせ先 / Contacts

CEATEC JAPAN 広報・PR 担当
(一般社団法人電子情報技術産業協会)
担当：吉田 TEL：080-7749-2249
E-mail：press2017@ceatec.com

CEATEC JAPAN Public Relations
(JEITA)
Contact: Shun Yoshida
E-mail: press2017@ceatec.com

■会期中の出展者プレスブリーフィングのご案内

[開催会場] プレスセンター内 特設会場 プレスブリーフィングルーム

※ 開催日時順

10 月 3 日（火）

①株式会社 CURIO SCHOOL（小間番号：C027）

日時：10 月 3 日（火） 11:00～11:30

内容：株式会社 CURIO SCHOOL（キュリオスクール）はデザイン思考を活用したプロジェクト型学習体験を小学生～高校生に提供し、子供たちの知的好奇心、創造力、コラボレーション力を育む 21 世紀型の学習塾です。弊社事業の 1 つであるプログラム「Mono-Coto Innovation」は「アイディアをカタチにして競い合う、創造力の甲子園」と題し、企業と中高生が共創し、半年間かけてプロダクト開発／サービス開発に取り組むものとなっています。デザイン思考を活用した企業と中高生の共創体験が、双方にとって、また社会にとってどのような価値を生み出すのか？当日は実際にプログラムに参加した企業と中高生も登壇予定です。

②株式会社神戸デジタル・ラボ（小間番号：S10-09）

日時：10 月 3 日（火） 12:00～12:30

内容：人物移動予測エンジンを用いた観光マーケティング分析

訪日観光客が増加する今日、観光に関わる業種の多様化や日本人観光客との共存等、観光産業の環境変化に対応する施策が急務となっています。しかし観光地では、インバウンド含め、インターネットの普及による情報収集の多様化、観光スタイルの変化、民泊やガイドマッチングなどの新サービスの普及などの劇的且つ多様な変化を前に、観光施策の検討が追いつかないのが現状です。神戸デジタル・ラボでは、観光施策の検討における最重要課題である「現状把握」に重点を置き、これまで培ってきたデータ分析、活用のノウハウを活かして ICT 技術を用いた分析によって観光マーケティングを支援しています。これは、フリーWiFi の利用データや SNS の位置情報、サイトへのアクセス解析など複数のデータソースを元にグラフやヒートマップで現状を可視化し、独自の予測技術による観光客の動線予測などを合わせてレポートするものです。今回の展示では、本支援で活用する分析アプリケーションのデモンストレーションや事例を中心にご紹介します。

③株式会社ハタプロ（小間番号：S01）

日時：10 月 3 日（火） 13:00～13:30

内容：ZUKKU は、身長わずか 10cm の小型フクロウ型ロボットです。バッテリーと IoT 専用 SIM 内臓で常時接続し、クラウドを通じてさまざまな情報を得る機能と、音声認識、そしてカメラで取得した画像の識別で人の顔から性別や年齢、感情などを識別する AI 機能を持っています。サイネージなど他機器とも連携します。街や施設に設置し、目の前にいる人の属性に合わせ音声認識も活用しながら、わかりやすいガイドをします。「IoT 時代の街中の新しいメディア（タッチポイント）情報インフラとなる。」をコンセプトに、どこにでも設置しやすい小型で、IoT 向け低価格 SIM 内臓で自律通信し、常にクラウド AI と接続し最適な判断をするロボティクス・デジタルサイネージとして、施設/店舗運営者など法人事業者向けに、弊社の IoT 広告テクノロジーなども活用し比較的安価な価格で街中のあらゆる施設/店舗へ速やかに展開していきます。普段は便利な情報提供や簡単な接客、御用聞きなど、人々の「日常を進化させる」パートナー的な存在として様々な価値を出しながら、大規模災害など緊急時にはサイネージにリアルタイムに避難情報などを一斉に配信し人々の生活や安心・安全を守ります。

■会期中の出展者ブース記者発表会のご案内

[開催会場] 展示ホール内 各出展者ブース

※ 開催日時順

10 月 3 日（火）

①株式会社アマダホールディングス（小間番号：S09）

日時：10 月 3 日（火） 10:00～10:45

会場：幕張メッセ ホール 4「アマダホールディングス」ブース

内容：アマダグループは、私達の生活に欠かせない「モノづくり」を支える金属加工機械の総合メーカー。市場・就労環境が煩雑化した今、90 年代からの IT 技術活用を礎に、アマダ独自の IoT「V-factory」を展開。複雑な生産工程連携のスマート化と設備の保守を推進し、無駄のないモノづくりを具現化していく。具体的には、お客さまとアマダが IoT 技術でつながり、お客さまのモノづくりをアマダが支える仕組みである。お客さまマシンの安定稼働を支える IoT プロダクトと IoT サポートによって構成され、お客さま工場の全工程を支援する。また、お客さまとの窓口となる「アマダ IoT サポートセンター」を通じて、マシンを止めないサポート、マシンコンディションなどの様々な情報を生かしたコンサルティングをご提案していく。

②慶應義塾大学 ハプティクス研究センター（小間番号：S10-65）

日時：10 月 3 日（火） 14:00～14:45

会場：幕張メッセ ホール 4「慶應義塾大学 ハプティクス研究センター」ブース

内容：『リアルハプティクス技術が世界を変える ～力触覚が AI に甦る～』

リアルハプティクス（RH）技術がモーション制御に大きな変革を起こし始めました。位置と力を協調させ行為を操る、人間が生まれながらに持っている力触覚機能を機械・ロボットに蘇らせます。人は自転車に乗る等様々な関節や筋肉の複雑な行為情報を連携運動として小脳に記録し、呼び出すことで器用に活用します。RH 技術は行為の記録、再実行を通して小脳的 AI 機能を実現します。さらに扱う行為情報は見える化、超人化や編集が自由自在です。私たちは RH 事業化活動を通し、すでに多くの先進企業との共同研究開発によって応用事例を積み上げています。また、核となる基幹部を ABC-CORE として凝縮・モジュール化することで、RH 技術の応用開発効率化と実装容易さを実現しました。大学発ベンチャーとして設立した事業会社が、ABC-CORE を責任を持って市場に提供していきます。また、本展示では幾つかの応用事例を実際にご紹介いたします。RH 技術の魅力・到達度を実感下さい。

■主催団体の紹介
CEATEC JAPAN 実施協議会

一般社団法人 電子情報技術産業協会
JEITA : Japan Electronics and Information Technology Industries Association

所　在　地	〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-1-3 大手センタービル TEL : 03-5218-1050　FAX : 03-5218-1070　http://www.jeita.or.jp
設　　立	1948 年 4 月
活 動 目 的	電子材料から電子部品・デバイス、最終製品に至る IT・エレクトロニクス産業の総合的な発展に資し、幅広い分野の様々な課題に取り組むことで、安心・安全で豊かな生活の興隆と、我が国経済の発展に寄与すること
会　　長	長榮 周作（ながえ しゅうさく）［パナソニック株式会社 取締役会長］
専 務 理 事	長尾 尚人（ながお ひさと）
常 務 理 事	川上 景一（かわかみ けいいち）
会　員　数	380 社・団体（2017 年 8 月現在）

一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会
CIAJ : Communications and Information network Association of Japan

所　在　地	〒105-0013 東京都港区浜松町 2-2-12　JEI 浜松町ビル 3F TEL : 03-5403-9350　FAX : 03-5403-9360　http://www.ciaj.or.jp
設　　立	1948 年 4 月
活 動 目 的	情報通信技術（ICT）活用の一層の促進により、情報通信ネットワークに関わる産業の健全な発展を図るとともに、情報利用の拡大・高度化に寄与することによって、社会的、経済的、文化的に豊かな国民生活の実現および国際社会の実現に貢献すること
会　　長	川崎 秀一（かわさき ひでいち）［沖電気工業株式会社 代表取締役会長］
専 務 理 事	片山 泰祥（かたやま やすよし）
常 務 理 事	今井 正道（いまい まさみち）
会　員　数	219 社・団体（2017 年 8 月現在）

一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会
CSAJ : Computer Software Association of Japan

所　在　地	〒107-0052 東京都港区赤坂 1-3-6 赤坂グレースビル 4 階 TEL : 03-3560-8440　FAX : 03-3560-8441　http://www.csaj.jp
設　　立	1982 年 5 月
活 動 目 的	コンピュータソフトウェア製品に係わる企業が集まり、ソフトウエア産業の発展に係わる事業を通じて、我が国産業の健全な発展と国民生活の向上に寄与すること
会　　長	荻原 紀男（おぎわら のりお）［株式会社豆蔵ホールディングス 代表取締役社長］
専 務 理 事	笹岡 賢二郎（ささおか けんじろう）
理　事　・ 事 務 局 長	原 洋一（はら よういち）
会　員　数	558 社・団体（2017 年 8 月現在）

■運　営
CEATEC JAPAN 運営事務局（一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会）
〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-1-3 大手センタービル
電話：（03）6212-5233　FAX：（03）6212-5226

CEATEC JAPAN 運営事務局（日本エレクトロニクスショー協会）
〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-1-3 大手町センタービル
電話：(03)6212-5233　FAX:（03）6212-5226　E-mail：press2017@ceatec.com

www.ceatec.com